

森、盛、オホーツク

林野庁 北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター

= 第1回「森林づくり塾」= 意外に好評の生長量調査

6月9日(日)に北見市端野町の国有林「オホーツクの森」で北見市民10名の参加により今年度1回目の「森林づくり塾」を行いました。



この催しは、森づくりを通じて森林の果たす役割を理解していただき、森づくりに関わるボランティアの輪を広げることを目的に行なっているものです。

今回は、100年前の森林(広葉樹と針葉樹が適度に混じった、色々な木や草の種類がいっぱいある森林)を目指し 10 年前から植樹した木々の状態を 3 班に分かれて調査しました。

なかなか探すのに苦労するぐらい小さな物や 1 m 前後の物、かなり大きく (2 m 以上) 生長している物や枯死し消失している物もあり、「長い年月でそれぞれ生長が違い、条件により違いますね」との声もありました。

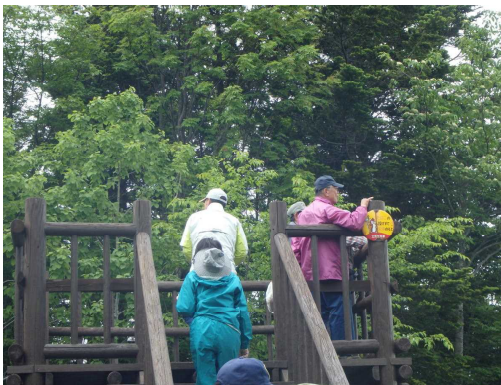
自然界の厳しさを改めて感じる光景を目にすることが出来ました。また、植栽木の廻りの草本類も手鎌で除去も平行して行いました。

当日の朝は肌寒いくらいの天候でしたが、段々



温度があがり快適に作業が出来ました。「こういう作業も面白いですね」「勉強になります」「もう少し作業があってもいいのに」と心強い意見もいただきました。

昼食後は、網走市・北見市の境界にある「オホーツクの森」展望台からの眺望を楽しんだあと、クリンソウが咲く遊歩道を散策しながら、若干の山菜もゲットし、終了しました。



一端野小学校自然観察会 カモフラージュ楽しい！

6月19日（水）、端野小学校5年生35人を対象にオホーツクの森で行われた自然観察会をサポートしました。



まずはアイスブレイクで子供たちの緊張をほぐし、3班に分かれてカモフラージュです。

自然界に存在しない物を探しながら、保護色を使って隠れるのは自分の身を守るためであること、また、木の実が赤く色鮮やかに目立つのかを説明しました。近くに白い葉が目立つマタタビがあり、それらの持つ意味を皆で話し合いました。



次に「古の森」の遊歩道を歩きながら、凍裂や倒木更新などを観察して、自然の仕組みについて理解してもらいました。太い木が多くある森の中で、木の名前を少しでも覚えてもらうため歩道脇の標示板を使いながら木々の特徴について話しをしました。また、巻き尺を使って木の太さを測ったりしましたが、太さの予想を見事的中させる子もいました。

子どもたちは、自然とふれあい楽しそうでした。また、とても森林に興味を持ってきている子もいました。

今後も学校側の要望に応えることが出来るよう、また、子どもたちが自然に触れて考えられる楽しい時間を提供出来ればと考えています。



～オホーツクの森林づくり～ 作業後貴重なものを見学！

6月30日(日)に北見市端野町の国有林内で、前日の雨模様で天候が心配されましたが、天候も徐々に晴れ模様になる中、「オホーツクの森林づくり」を行いました。(主催：北海道森林管理局常呂川森林ふれあい推進センター、森林ボランティア「オホーツクの会」、後援：オホーツクの森「自然再生モデル事業企画運営協議会」)



これは、多様な森林づくりとして針広混交林を目指し、約10年前から森林ボランティア・企業・高校や大学等の皆さんがこれまでに植栽した広葉樹の手入れを通じて、その生長を確認していただき、森林の働きや森林の公益的機能などの理解を深めるために行っているもので北見市及び近隣から29名の参加がありました。



午前中は、植栽木がササに覆われないように刈出しなどを行うとともに、植栽木の位置を表示する木杭打ち作業をしていただきました。

参加者の皆さんは、心地よい汗をかきながら熱心に作業をされていました。

「この作業で植栽した木の周囲がきれいになりました。大きく育ってくればいいですね」、「これからの生長が楽しみです」などの声がありました。

午後からは、北海道家庭学校(遠軽町)にある展示林(1964東京オリンピックの際に各国選手団が持ち寄った樹木の種子から育てたもの)を見学しました。

参加者からは「地元にもこのような経緯がある展示林があるとは知らなかった、勉強になった」「余り来れないところで、貴重な展示林が見れて非常に良かった」などの感想がありました。



= 常呂小学校自然観察会 = 自然観察会をサポート

7 月 5 日（金）、常呂小学校 3 年生 15 人を対象とした自然観察会（ワッカネイチャー
スクール）をサポートしました。

これは、常呂小学校の「例年ワッカ原生花園
に行っているが、花を見るだけとなっており、力を
貸して・・・」との要請を受け、自然を楽しむ・親
しむことを目的に昨年に行っているものです。



プログラム作りも苦慮しましたが、自然を感じる
こと・観



察すること、楽しむことを重視し、ネイチャー
ゲーム（「フィールドビンゴ」「カメラゲーム」「サ
ウンドマップ」「サイレントウオーク」）を組み
込みながらの 3 班に分かれておよそ 2 時間の散
策です。

「サウンドマップ」（自分を中心に、聞こえて
感じた音を色や線・記号などで紙に描く）では、
「船の音が結構聞こえた、あと風の音がヒューヒューと聞こえた」「小鳥の声がたくさ
ん聞こえた」などの声がありました。

また、「カメラゲーム」（二人ペアになり、カメラ
マンは目隠しをしたカメラ役を被写体に誘導、カメ
ラ役は見た光景を絵にする）では、カセンソウ、エ
ゾスカシユリやエゾフウロ・ムシャリンドウなどの
花をメインにした絵が完成していました。途中、班
員全員が双眼鏡で見終わるまで、枝先で鳴く鳥やサ
ギの一種も見られ、楽しく散策することが出来まし
た。



担任の先生からは、「とっても楽しい時間をありがとうございました。来年も是非お
願いします。」という心強いコメントをいただきました。

8 月の予定

○ 8 月 24 日 山の日記念「藻琴山散策会」（小清水町・大空町 藻琴山）

常呂川森林ふれあい推進センター

http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/tokorogawa_fc/index.html

〒 090-8588 北海道北見市北斗町 3 丁目 11 の 3

【TEL】 0157-23-2960 【FAX】 0157-26-2144

